



人文学研究科・文学部 国際連携室（豊中）（旧文学研究科・文学部 国際連携室）

国際連携室では、年間を通じて様々な行事や企画を実施しています。留学生だけでなく、当研究科・学部 of 学生を対象としたプログラムもあります。2022 年度には以下の行事を実施しました。

（*は留学生のみ対象）

※新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得なかった行事については、通常の予定を記しています。

- **部局間協定校 派遣学生募集** 人文学研究科・文学部協定校へ交換留学する学生の募集です。
留学開始時期に応じて、一年に 2 回募集します。

2022 年度 本募集 2022 年 8 月 1 日（月）～ 2021 年 8 月 31 日（水）

追加募集 2023 年 1 月 10 日（火）～ 2023 年 2 月 3 日（金）

- **タンデム学習プログラム** 留学生と日本人学生のペアでお互いの言語や文化を学びます。
前期と後期にそれぞれのプログラムがスタートします。プログラムの詳細については、Facebook をご覧ください。
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/OsakaUTandem>
前期 参加者募集 4 月 18 日（月）～27 日（水） 親睦パーティー 新型コロナウイルスのため中止
ワークショップ 7 月 15 日（金）
後期 参加者募集 9 月 30 日（金）～10 月 17 日（月） 親睦パーティー 新型コロナウイルスのため中止
ワークショップ 12 月 22 日（木）

- **新入留学生オリエンテーション*** 新入留学生を対象としたオリエンテーションです。【参加者数のみ記入】
※2022 年度は前期ハイブリッド形式、後期対面で実施しました。
4 月 8 日（金） 参加者：計 32 名（対面：13 名、オンライン：19 名；新入生、留学生専門教育教員、国際連携室 2 名、教務係 1 名、タンデム学習 1 名）。
9 月 30 日（金） 参加者：計 13 人（新入生、教職員 3 名、タンデム学習 1 名）
それぞれの開催日に参加できなかった新入生には、後日個別説明を行いました。
- **チューター説明会** 初めて留学生チューターを担当する学生を対象とした説明会です。
※2022 年度は前期ハイブリッド形式、後期対面で実施しました。
前期は 4 月 20 日（水）に開催。参加者：15 名（対面：4 名、オンライン：11 名；残り数名に個別対応）
後期は 10 月 19 日（水）に開催。参加者：7 名（残り数名に個別対応）
それぞれの開催日に出席できなかったチューターには、個別に説明しました。

- **英語集中講座**
「教育研究の国際的通用性・国際的発信力」の向上を実現するため、学部生・大学院生を対象とした英語集中講座（IELTS 等）を実施しています。レベルに応じて二講座（中級／上級など）を設定し、学外からネイティブの講師（ブリティッシュ・カウンシルなどから）を招き、授業をしてもらいます。2022 年度はオンラインで実施しました。
実施期間：2023 年 2 月 27 日（月）～3 月 3 日（金） 参加者数、中上級：13 名、上級：8 名

- **留学説明会**
人文学研究科（人文学・基盤日本学・芸術学）・文学部学生を対象とした説明会です。学内選考や留学先大学への申請手続やスケジュール、奨学金についての説明の後、交換留学経験者の体験談を聞き、渡航準備や現地での生活だけでなく、帰国後の就学や就職活動などについての質問にも答えていただきました。普段は 5 月中旬ごろに留学説明会を行っています。2022 年度は 6 月 22 日（水）にハイブリッド形式で実施しました。（参加者：当研究科・学部の学生：26 名、発表者：3 名、教職員：3 名）

■ エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム (EM) 派遣説明会

エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム派遣奨学生候補募集説明会です。毎年、10月中旬ごろに実施しています。2022年度は、10月19日(水)に実施しました。

■ 「ゆめ基金」応募者募集

交換留学制度を利用する文学部学生を対象とした奨学金です。

2022年6月30日(木)、2023年1月17日(火)を選考基準日として募集し、選考のうえ採用者を決定しました。

■ ハイデルベルク大学 ISAP (Internationale Studien- und Ausbildungspartnerschaft) 特別講演

2022年度は本学グローバル日本学教育研究拠点と共催で講演会を企画し、ハイブリッド形式で実施しました。講演会は、2023年3月29日(水)に開催し、ハイデルベルク大学の Dr. Vincent Lesch (ヴァインセント・レシュ) 准教授に「日本における消費者教育の発展とミクロレベルでの実施」、Prof. Dr. Judit Árokay (ユードイット・アロカイ) 教授に「ISAP プログラムをふりかえって」と題して日本語でご講演いただきました。

■ エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム (EM) 特別講演会

2022年11月17日(木) グローニンゲン大学の Dr. Marek Neuman (マレーク・ヌーマン) 助教授に「Ukrainian EU Membership: Nothing But Wishful Thinking?」と題して英語でご講演いただきました。

■ ランチャイム交流会

年2回、軽食を摂りながら、学生、教職員が学期初めのお昼のひとときを一緒に過ごす機会を作ることが目的です。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得なくなりました。

■ 浴衣・着物教室*

年2回行われますが、2022年度は、新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得なくなりました。参加者の好みに応じて一着を選んで着付けていただき、思い思いのポーズで写真を撮ります。

■ 国際交流促進のための国際セミナーの開催及びプロシーディングの刊行

当研究科・学部で学ぶ若手研究者が外国語(英語)でそれぞれの研究について口頭発表する機会を作る目的で、年一回国際セミナーを実施しています。2022年度は、2022年10月26日(水)にInternational Exchange in the Age of Society 5.0と題するセミナーを開催し、海外のゲストスピーカーによる講演や、国内外の若手研究者による口頭発表および意見交換、討論を行いました。また、各発表者が自身の発表を学術論文として発信できるよう、セミナーのプロシーディング(英語論文集)も刊行しました。

今年度の実施案内は HP やポスターなどでご確認ください。
留学プログラムや留学派遣学生の募集情報は HP や KOAN を通じて案内します。

学生派遣・受入れのデータ

留学派遣（2023 年 3 月 31 日付。既に帰国した者・休学事由「留学」。バーチャル留学を含む。）

研究科 2 名		学部 14 名	
在籍学年		渡航先	
後期 3 年	1	フランス	1
後期 2 年	1	ドイツ	0
後期 1 年	0	英国	1
前期/修士 2 年	0	台湾	0
前期/修士 1 年	0		
		在籍学年	
		学部 4 年	3
		学部 3 年	6
		学部 2 年	5
		渡航先	
		ドイツ	5
		英国	4
		アメリカ	2
		オーストラリア、 デンマーク、フランス	各 1

大学主催の語学研修等参加者（2023 年 3 月 31 日付）

研修名等	研究科	学部	研修名等	研究科	学部
モナシュ大学	0	0	フリンダース大学	0	1
エンデランカレッジ	0	0	CampusFrance	0	0
西シドニー大学	0	0	ハワイ大学マノア校	0	1
ヨーク大学	0	0	その他	0	0

留学生受入れ（2023 年 3 月 31 日時点での在籍数。休学中、EM 参加者は除く。）

研究科		学部		出身国・地域	
博士後期課程 3 年	16	4 年	14	中国	136
博士後期課程 2 年	7	3 年	8	韓国	35
博士後期課程 1 年	16	2 年	6	ドイツ、アメリカ、 台湾	各 4
博士前期課程 2 年	28	1 年	9	ブラジル	3
博士前期課程 1 年	22	研究生	32	ロシア、タイ、 トルコ、香港	各 2
修士課程 2 年	5	特別聴講学生	16	フランス、イタリア、インド、ベトナム、 ウクライナ、ポーランド、オーストラリア、 スイス、スロバキア、デンマーク、 ハンガリー、ベラルーシ、ブルガリア、 朝鮮 各 1	
修士課程 1 年	0				
研究生	12				
特別研究学生	7				
特別聴講学生	10				

在籍専門分野・コース、専修

研究科						学部			
	博士後期	博士前期/修士	研究生	特別研究 学生	特別聴講 学生		学部	研究生	特別聴講 学生
哲学哲学史	2	3	-	-	-	哲学・思想文化学	2	-	-
現代思想文化学	-	-	-	-	-	インド哲学	-	-	-
臨床哲学	-	1	-	-	-	臨床哲学	-	-	-
日本史学	-	1	-	-	-	日本史学	1	-	-
東洋史学	1	-	-	-	-	東洋史学	1	4	-
西洋史学	1	1	-	-	-	西洋史学	3	-	-
考古学	1	-	-	-	-	考古学	2	-	-
日本学	-	1	3	2	-	日本学	3	1	-
人文地理学	1	2	-	-	-	人文地理学	-	1	-
日本語学	4	4	-	-	2	日本語学	3	2	-
日本文学	2	5	3	1	1	日本文学・国語学	4	1	-
国語学	-	1	-	-	1	言語生態論	-	-	-
比較文学	-	1	-	-	-	比較文学	2	1	-
中国文学	-	2	-	2	2	中国文学	1	-	-
英米文学	-	-	-	-	-	英米文学・英語学	1	-	-
英語学	-	1	-	-	-	倫理学	1	-	-
美学・文芸学	3	4	-	-	-	美学・文芸学	2	-	-
音楽学・演劇学	9	4	2	-	-	音楽学・演劇学	1	6	-
美術史学	3	4	-	-	-	美術史学	-	4	-
共生文明論	-	1	-	-	-	共生文明論	-	-	-
アート・メディア論	-	7	-	-	-	アート・メディア論	-	-	-
文学環境論	6	3	-	-	-	文学環境論	-	-	-
インド学・仏教学	1	-	-	-	-				
その他	5	9	4	2	4	未配属	10	12	16
	39	55	12	7	10		37	32	16

教員派遣・受入れのデータ**教員海外出張・研修（2022年4月から2023年3月）**

海外出張 延べ24名、49件

ドイツ	7	ラオス、	各2	スイス、アイスランド、スペイン、オーストラリア、チェコ、台湾、カナダ、ポルトガル、トルコ、ベルリン、イギリス、マレーシア、デンマーク	各1
フランス	5	ポーランド、インド			
タイ、オランダ、アメリカ、韓国、イタリア、エチオピア	各3				

海外研修 延べ2名、2件

アメリカ、中国	各1
---------	----

招へい研究員(外国人)の受入れ（2022年4月から2023年3月）

1. キスト・レイチェル デボラ（QUIST, RACHEL DEBORAH）アメリカ 2022年1月17日～2023年1月16日。フルブライト・ヘイズによる「醍醐寺の平安・鎌倉時代における仏教造像」についての研究（藤岡穰教授受入れ）
2. バ セイケン（MA JINGXIAN）中国 2022年4月1日～2023年9月30日。古代ウイグル語世俗文書の研究（松井太教授受入れ）
3. 朴 秀浄（PARK SOOJUNG）韓国 2022年4月1日～2023年3月31日。科学研究費研究活動スタート支援「日本近代文学における性科学の展開と韓国への影響」に関する研究（橋本順光教授受入れ）
4. 朱 喜哲（JU HEECHUL）韓国 2022年4月1日～2023年3月31日。科研費（若手）「推論主義によるELSI領域の理論的基盤提供と応用」（2021年4月-2026年3月）に基づく研究（嘉目道人准教授受入れ）
5. 劉 翔（LIU XIANG）中国 2022年4月1日～2023年3月31日。役割語としての「時代ことば」及び「幼児語」の日中対照研究（岡島昭浩教授受入れ）
6. 蒲 姣艶（PU JIAOYAN）中国 2022年4月1日～2023年3月31日。古今集時代の新歌材研究（滝川幸司教授受入れ）
7. ヴイツェル ミハエル（WITZEL MICHAEL ERNST JUSTUS）アメリカ 2022年4月1日～2023年3月31日。『リグヴェーダ』ドイツ語訳プロジェクトの遂行。日本神話および比較神話学に関する調査・研究（堂山英次郎教授受入れ）
8. 鄭 聖汝（CHUNG SUNG YEO）韓国 2022年4月1日～日。科学研究費基盤研究（C）「他動性と言語類型—実証的他動性理論の構築を目指して—」の研究（BURDELSKI Matthew James 教授受入れ）

9. エスカンド ジェシ イヴオン（ESCANDE JESSY YVON）フランス 2022年4月1日～2023年3月31日。国際交流基金日本研究フェローシップ「現代日本ファンタジーにおける異文化受容の性質に関する研究」（橋本順光教授受入れ）
10. マーティン エルベル（MARTIN ELBEL）チェコ 2022年6月20日～2022年7月19日。エラスムス・ンドゥスユーロカルチャプログラムによる「Pre-modern Japanese people response to " sudden atmospheric phenomena" (storms, hail, thunder, lightning)」に関する研究（BURDELSKI Matthew James 教授受入れ）
11. 王映雪（WANG, YINGXUE）中国 2022年9月1日～2023年8月31日。ライシャワー研究所奨学金による「仏の色：技術・医術・王権から見た古代仏教美術」に関する研究（藤岡穰教授受入れ）
12. ブライデニヒ クリストフ（BREIDENICH CHRISTOF）ドイツ 2022年9月15日～2022年12月15日。欧州と日本とのデザイン交流史研究（高安啓介教授受入れ）
13. ルカ・プロイエッティ（LUCA PROIETTI）イタリア 2022年10月1日～2023年9月30日。「A noisy engagement: an analysis on the conscious awareness in Japanese noise music」に関する研究（輪島裕介教授受入れ）
14. サッカ ティモ タパニ（SÄRKÄ, TIMO TAPANI）フィンランド 2022年12月1日～2023年3月31日。Global Historyに関する研究（秋田茂教授受入れ）
15. マレーク ニューマン（MAREK NEUMAN）チェコ 2022年1月1日～2022年11月30日。エラスムス・ンドゥスユーロカルチャプログラムによる「EU の国際関係」に関する研究（BURDELSKI Matthew James 教授受入れ）

編集・発行 文学部・文学研究科 国際連携室

〒560-8532 豊中市待兼山町 1-5

堂山 英次郎・モハンマド モインウッディン・廣澤 沙紀

発行日 2023年3月31日